

ひとよし 市議会だより

第111号

2022 / 令和4年2月1日 発行



人吉市が13年ぶりの優勝を果たした
球磨一周駅伝



部分運行再開に向け運搬されるくま川鉄道の車両



令和3年度人吉市成人式

紅取山から見た初日の出 ～2021年11月から2022年1月を振り返って～

主な内容

- ② 12月定例会・1月臨時会報告
- ⑥ 市議会に関するアンケート
ご協力をお願いします
- ⑦～⑩ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑫ 市民と議会の意見交換会

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市下城本町1578番地1
☎ 0966-22-2111
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

12月定例会報告

令和3年12月第6回定例会は令和3年11月30日から12月21日までの22日間開催しました。

一般会計補正予算

16億7,797万円 増額可決

(補正後の総額は320億1,869万9千円)

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意した方

吉村 和子 氏
祝 憲生 氏

一般会計補正予算の主なもの

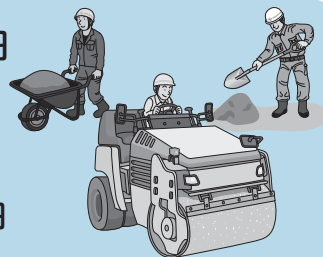
くま川鉄道災害復旧
資金貸付金

3億9,800万円



道路橋梁災害復旧
事業(補助)

3,583万8千円



新型コロナウイルス
ワクチン接種事業

3,478万6千円



子育て世帯への臨時特別給付金
支給事業

5億51万2千円



1月臨時会報告

第1回臨時会は令和4年1月14日に開催し、補正予算案件、1議案を原案可決しました。

一般会計補正予算

7億1,167万5千円 増額可決

(補正後の総額は327億3,037万4千円)

一般会計補正予算の主なもの

住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金支給事業

6億1,699万6千円

遊水地計画に伴う防災集団
移転に係る調査経費

3,500万円

マイナンバーカード所有者の転出・
転入手続のワンストップ化に係る
システム改修事業

275万円



インターネットで
議会中継が視聴できます

本会議をインターネットで配信しています。

当日の中継はもちろん、過去の本会議も視聴することができます。



総務文教委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 宮崎 保
●委員 松村 太・塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎

令和3年度 一般会計補正予算を承認

総務部関係の主なものは、くま川鉄道(株)が行っている災害復旧事業について、国の補助金が工事等の完了後の支払いとなることから、本市が構成市町村を代表し、熊本県市町村振興資金の復旧資金を借入れ、くま川鉄道(株)に貸付けを行う貸付金や老神町及び出水川における内水排除ポンプを設置するための工事費などです。

教育部の主なものは、新型コロナウイルス感染症対策事業で購入する教師用パソコン充電保管庫、各小学校1台、第一中学校2台、第二中学校及び第三中学校各1台の計10台分の備品購入費や小学校や中学校の電気料の不足が見込まれるための需要費の増額などです。

委員から、小学校と中学校いずれも電気料が増額補正されているがその要因はとの質疑があり、令和2年7月豪雨で避難所として使用していた際のエアコンの使用によりデマンド値が上がり、基本料金が高くなったためであるとの答弁がありました。

人吉市監査委員条例の一部を改正する条例を承認

今回の条例改正は、本市の代表監査委員を「常勤」から「非常勤」へ移行することに伴い、条例改正するものです。

執行部から、県下14市の状況(熊本市、八代市

以外の11市が非常勤の監査委員を設置)及び本市が抱える厳しい財政事情、行財政健全化のための対策強化等を鑑みて、本市の「監査の質」の低下を招かないように、現在の常勤監査委員を常勤に近い形で非常勤に移行することに至ったとの説明がありました。

委員からの、非常勤になることにより監査委員の職責も薄くなるのかという質疑に、監査は勤務形態に関係なく、法律や条例に基づき実施するため、監査業務に関してはこれまでと変わることはないとの答弁がありました。また、非常勤で監査業務を行っていくということなので、監査委員事務局の体制充実を図ってもらいたいとの意見も出されました。



全線再開を目指して災害復旧が進むくま川鉄道

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

令和3年度 一般会計補正予算2件を承認

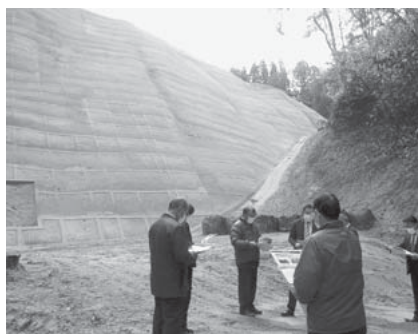
承認した2件のうち、一般会計補正予算(第8号)の主なものは、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、子育て世帯の生活を支援するための臨時特別給付金を支給する事業の1人当たり5万円(※)で、18歳以下の子ども4,975人分に係る現金給付及び事務費等です。

委員会として「市民への周知漏れがないように万全を期して頂きたい」旨の注意喚起を行いました。

※12月21日の本会議(閉会日)において、一人当たり5万円の追加給付分に係る議案が提案され、委員会への付託無しで審議が行われました。審議の結果、本市においては、一人当たり10万円の一括給付を行うこととなりました。

専決処分(水道事業特別会計補正予算)を承認

原城配水池の貯水槽建設予定地の保全強化を図るため、浸食により拡大したクラック部分へ、ソイルセメントの充てん、のり面の下部は植生マットから吹き付け法枠工に変更となり事業費の増額がっております。



原城配水池 のり面災害復旧工事

条例改正2件を承認

人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例は、全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、国民健康保険税の改正部分が令和4年1月1日から施行されることに伴う条例の一部改正です。

人吉市国民健康保険条例等の一部を改正する条例は、傷病手当金の支給に係る適用期間が「令和3年12月31日」から「令和4年3月31日」に延長されたこと等に伴い条例の一部を改正するものです。

特別会計予算5件を承認

承認した5件のうち、公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)の主なものは、ストックマネジメント計画に伴う人吉浄水苑汚泥処理設備改築更新工事の委託料等の増額に伴うものです。

委員から、「マイナスになる設備投資ではないということは分かっているのですが、増額補正が人吉市にとってプラスになるということを市民の方へ説明・周知をしてほしい」との意見がありました。

条例制定の2件と、工事請負契約の締結1件を承認

条例の制定は、人吉市まち・ひと・しごと総合交流館のレンタルキッチン及び宿泊施設の使用料等を規定するものと、災害公営住宅等整備事業者の選定等に関して審議する附属機関を設置するためのものです。

工事請負契約の締結は、中神地区の被災農地の復旧工事費（捨て土の運搬距離の増大、当初なかった処分費の計上、表土の購入費）の増大により、新たに工事請負契約の締結を行うものです。委員から、「農家の皆さんに対し、丁寧な、納得いただけるような説明をしていただきたい」との意見がありました。



現地視察を行った大橋の災害復旧箇所

予算関係2件を承認

人吉市一般会計補正予算（7号）の主なものは、次世代を担う農業者を目指し、独立・自営就農し農業を開始する認定新規就農者に対し、年間150万円（夫婦の場合225万円）を最長5年間交付するもので、対象者は個人経営が、年度内の認定見込み2名を含み9名、夫婦型経営が2夫婦です。

継続費の補正で「災害公営住宅整備事業」は、令和2年7月豪雨の災害により住宅を滅失し、自力で再建できず、住まいに困窮している世帯に対し、住宅を整備するものです。事業期間は3か年を計画し、整備手法は、建物買取り型を採用し、プロポーザル方式により事業者の選定を行うもので、総額31億8,650万円の継続費を設定するものです。

住宅の戸数は120戸で、配置、棟数は事業者提案。構造は鉄筋コンクリート造、集合住宅でエレベーター付き。間取りは4タイプ。熱源はオール電化となっております。

人吉市一般会計補正予算（8号）の主なものは、「強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金」で、令和2年7月豪雨の災害により被害を受けた農業用施設・機械等の再建、修理等にかかる事業費の一部を補助するもので2件分です。内容は、農業用倉庫の再建が1件、水井戸の再建が1件で、補助率は国50%、県20%、市20%の合計90%です。

令和2年度歳入歳出決算を認定

令和2年度決算を審査するために、令和3年9月定例会で決算特別委員会を設置し、継続審査となっていました。その後閉会中を含め4回にわたり慎重に審査を行いました。

11月30日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、歳入歳出決算については賛成多数で認定されました。

同特別委員会では市に対し、4つの個別の指摘・要

望事項とあわせて、今後の財政運営に当たっては、被災者に寄り添った災害からの復旧・復興に努めながら、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳入の最大限の確保及び、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行われるよう要望しました。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	300億9,283万5千円	287億799万1千円
特別会計（水道・下水道を除く）	92億1,773万5千円	87億2,990万9千円
合計	393億1,057万円	374億3,790万円



令和2年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算を可決及び認定

令和2年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計の利益の処分及び決算を審査するために、令和3年9月定例会で厚生委員会に付託されて継続審査となっていました。その後閉会中に3回にわたり慎重に審査を行いました。

11月30日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、利益の処分及び決算については、全会一致で可決及び認定されました。

厚生委員会では、今後の水道事業の経営について、3つの個別の要望事項とあわせて、引き続き公営企業の原則である経済性と公共の福祉増進に沿って経営の効率化、健全財政及び収益性の向上の推進及び将来

を見据えた計画的で確実な事業の実施、さらには大規模災害を視野に入れた危機管理能力に優れた組織・体制づくりの構築に努め、将来にわたって低廉で清浄かつ豊富な水の安定供給ができるよう要望しました。

また、今後の公共下水道事業の経営について、3つの個別の要望事項とあわせて、令和元年度に策定した「人吉市下水道事業経営戦略（ストックマネジメント計画）」に基づき施設等の維持管理に努めるとともに、経営の効率化、健全化の推進、収益性の向上を図りつつ、持続可能な事業運営に努め、更なる市民サービスの向上を図られるよう要望しました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲

●副委員長 池田 芳隆

●委員 全議員

本特別委員会を、令和3年10月21日(木)に第7回、11月15日(月)に第8回、12月15日(水)に第9回を開催しております。

第7回は、国土交通省八代河川国道事務所より、「中川原公園形状変更に伴う、流況解析等の結果報告」の説明を受け、審議いたしました。まず松岡市長から、まちづくり座談会等で「撤去しないでほしい」、「撤去してほしい」という相反する意見があり、科学的検証を持って判断すべきと考え、国に洪水時の中川原公園が治水上どのような影響を与えているのか、どのような復旧がいいのか等の検証をお願いした。依頼を受けた国においては、コンサルによる二次元流量解析、また、熊本大学大本特任教授の監修のもと、200分の1のサイズで、中川原を中心にした球磨川を熊大構内の実験場に再現し、4パターンの水理模型実験による現象を確認し、4案それぞれの水の流れ方、水位の変化を確認した事。検証結果を受け総合的に考え、被災前の公園地盤高から2メートル下げる案で復旧することを決断したとの説明がありました。

その後、国土交通省八代河川国道事務所より、比較検討に当たり、第1案「現状復旧」、第2案「スリム化(施設の廃止・樹木伐採)」、第3案「スリム化(施設の廃止・樹木伐採・公園盤下げ)」、第4案「公園廃止」の説明

があり、総合的に判断した結果、第3案が治水上の効果があり、公園利用ができるのではないかと確認ができたとの説明がありました。

委員から胸川の出水の影響は検討したのか、公園の上を水が流れることにより、公園自体がなくなっていくのではないかな等の質疑が出され、それぞれに詳細な答弁を頂きました。

第8回では、南阿蘇村の立野ダム、阿蘇市の内牧遊水地、小倉遊水地の説明があり、12月1日に視察研修を行うことを決定しました。

第9回では、視察研修のまとめを行い、立野ダムにおける堆砂について、きれいに流れるとの説明を受けたが、本当にどうなのかということをもっと考えていく必要があるのではないかという意見がありました。また、人吉市の上流部における遊水地計画について説明をいただきたいとの意見がありました。



立野ダム建設現場視察

復興のまちづくりに関する特別委員会報告

●委員長 宮原 将志

●副委員長 西 洋子

●委員 全議員

第5回 復興のまちづくりに関する特別委員会において、「人吉市復興まちづくり計画について」審議を行いました。計画策定の趣旨、位置づけ、復興まちづくりの基本的な考え方や基本方針、また、地区別懇談会での内容を基にした地区ごとの具体的な取り組み方針など、6章立てで構成されている復興まちづくり計画について、各章ごとに内容の説明がありました。

委員から、土地の買上げや土地の再利用等について、大柿、中神の遊水地計画の進捗状況などについて質疑がありました。また、「被災市街地復興推進地域の地権者の方には、進捗状況などの意見交換などは個別に行なっていただきたい」という意見や、「戸別訪問される際には、職員の方には統一された資料を持って対応していただきたい」などの意見がありました。



視察研修

益城町の災害公営住宅及び土地区画整理事業を視察

令和3年12月1日に、令和2年7月豪雨からの復旧・復興を推進するにあたり、災害公営住宅及び土地区画整理事業の先進地である上益城郡益城町の視察を実施しました。

視察を通して、「土地区画整理事業の仮換地について、いろいろな条件で同意できなくて大変な状況に置かれている方もおられると思う。私たちはそういうところにも心を配っていく必要があると感じた」という意見や「災害公営住宅の建設に関して、住民の意向にそって、なるべく希望の校区ごとに災害復興住宅を整備されていた。本市においても災害復興住宅の場所については住民の意向をくみ取って対応されたい」との意見などがありました。



土地区画整理事業視察

人吉市議会に関する市民アンケート ご協力ください！

実施目的：

人吉市議会改革の審議に市民の御意見を反映させるためアンケートを実施します。（議会制度研究会（委員長 大塚則男 副委員長 本村令斗）の審議の資料として活用します。）

対象者：令和4年2月末現在18歳以上の市民
実施方法：

議会だより（2月1日号）に綴じ込みのアンケートを右表のいずれかの方法で、提出をお願いします。大変お手数ですが、必要枚数コピーしていただくか、人吉市議会事務局にお電話で必要部数をご連絡いただければ郵送させていただきます。

提出期限：令和4年3月18日（金）

議会制度研究会とは：

社会情勢に対応できる議会制度・あり方について全議員で研究・検討を行っています。現在、議員定数についても検討しています。



【提出方法】

- ①市役所投函箱へ
・カルチャーパレスコミュニティ棟1階ロビー
・西間別館 正面玄関入って左手
- ②各コミセン投函箱へ（※東間・西瀬コミセンを除く）
※現在、休館中のため、投函箱は2月14日（月）から設置する予定です。
- ③市議会議員へ手渡し
※新型コロナウイルス感染対策を行い、受け取りいたします。
- ④議会事務局へ郵送、または、ファックス
（郵送先）〒868-8601 人吉市下城本町1578-1
人吉市議会事務局宛
（ファックス）24-7869
- ⑤市ホームページ（ダウンロード先：ホーム＞市政情報＞議会情報＞その他）でアンケート様式をダウンロードして、メールで送信
（送信先）gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp
（ホームページQRコード）



人吉下球磨消防組合へ意見書を提出

人吉下球磨消防組合本部・上球磨消防組合本部の広域化に関する意見書（要旨抜粋）

大災害から市民の生命、財産を守る消防の担う役割の大きさが改めて見直されたところであり、今後、消防体制の充実、強化を図るためには、消防本部の規模拡大が不可欠です。

熊本県では平成20年5月、県内の消防本部（当時13消防本部）を、管轄する人口30万人を目途に4ブロック（城北、中央、城南、天草）に分けて広域化を推進し、将来的には県下一消防本部体制を目指す「熊本県消防広域化推進計画」を策定しました。

天草を除く各ブロックでは、市町村長等で構成する消防広域化協議会が設置され、協議を行ってききましたが、城北、城南ブロックでは協議会を解散し、中央ブロックでは熊本市と高遊原南消防組合（益城町、西原村）が広域化したのみで、4ブロックの広域化に向けた動きは終了しました。

また、人吉球磨地域においては平成25年7月、人吉球磨地域消防力強化検討会（10市町村、2消防本部、熊本県で構成）が設置され、2消防本部間で「救急相互応援協定」の可能性を検討するも協定締結に至っておりません。

この間、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」は平成25年、平成30年にも改正され、広域化の期限が令和6年4月1日に延長されています。平成25年4月の改正では、管轄人口の目標である30万人に必ずしもこだわらないこと、小規模消防本部や広域化の機運が高い地域等を重点的に支援していくことが示されました。

さらに、熊本県は令和元年9月、「熊本県消防力強化推進計画」を改定しました。この計画においても広域化により、現場到着時間の短縮や現場活動要員の増強等が図られるとし、また一本部体制への過程で、一部の消防本部で自主的に広域化の検討が進んだ場合、過渡的な体制として再編や統合を支援する方針も盛り込まれています。

この人吉球磨圏域は、高齢化を背景とした救急需要の増大や大規模災害への対応は喫緊の課題です。市民の生命、財産を守るために消防力の強化は必須であり、令和2年7月豪雨を受けた今こそ、二つの消防本部の広域化を推進することを要請します。

上記の意見書は、12月定例会において全会一致で可決し、令和3年12月21日付けで提出しました。

意見書の全文は市ホームページに掲載しています。

意見書全文はこちら→



一般質問

～市政を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市長や執行部に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

12月定例会では、12月7日から9日までの3日間で10人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

山林伐採問題、市道矢黒下永野線 整備 他



牛塚 孝浩



動画視聴

問 本市は昨年、豪雨災害で甚大な被害を受けた。治水対策における治山は重要だが、大規模な山林伐採が目立つ。林業を守りつつ、森林・林業基本法に則った独自の条例制定を望むが市長の考えは。

答 令和4年3月までに行う森林整備計画の改定にあたり、責任の所在を明らかにし、区域指定することにより植栽の更新を促し指導していく。条例については、他自治体を参考にした上で検討したい。

問 避難路整備の観点からも、市道矢黒下戸越線の拡幅・歩道整備をお願いしたいが、市の考えは。

答 復興計画の中で検討を考えている。住民皆様の協力をお願いしたい。

※他、被災した家屋の修築時の壁問題、介護認定制度について質した。

被災者の生活再建について 他



徳川 禎郁



動画視聴

問 災害廃棄物仮置場閉鎖に至る経緯及び理由
は。

答 国の災害等廃棄物処理事業補助金を活用し運営してきた。補助事業期限の令和4年3月までに本来の設置目的である工業用地として原型復旧を行う計画である。

問 今後の災害廃棄物の対応は。

答 令和4年1月以降も環境課で可能な限り対応する。

問 聴覚及び発語障がい者の緊急時通報手段「Net119」システムの必要性について本市の考えは。

答 聴覚や発語に困難がある方が情報を発信するツールとして必要と感じている。要望は、管轄の人吉下球磨消防組合本部へつなぎたい。

※その他、障害児保育事業の補助内容及び災害後の市道点検等について質した。



ふるさと納税の活用と高齢者支援について



豊永 貞夫



動画視聴

問 平成20年から始まった「ふるさと納税」は、令和3年11月30日までで、19億円を超える寄附金を頂いている。寄附金を活用しての、本市の今後の事業実施の考えは。

答 豪雨災害や新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、市税が前年度より4億円減少している。これまで実施してきた事業の継続のために、寄附金を活用させていただきたい。

問 高齢者によるブレーキとアクセルの踏み間違ひ事故が多発している。国の「後付け踏み間違ひ抑制装置」の補助金が終了したので、高齢者支援のため、ふるさと納税寄附金を活用した補助金の考えは。

答 県内の取組状況と、本市の行財政健全化計画、及び災害復旧の状況を見ながら今後検討していきたい。

被災者の住居の確保



本村 令斗



動画視聴

問 災害公営住宅は、いつから入居できるようになるのか。

答 相良町の災害公営住宅は、令和6年1月を目指している。

問 災害公営住宅に入居するまでの期間は、応急住宅に住み続けられるようにすべきではないか。

答 これまでの大規模災害でも、災害公営住宅に入居予定の方が、仮設住宅の供与延長を認められた経緯がある。延長が認められるよう県も国と協議している。本市としても、国・県に強く要望していく。

問 建設型応急住宅を公営住宅として活用する場合、造りも違うので、災害公営住宅より家賃を安くして提供すべきではないか。

答 間取りも狭くなるので、災害公営住宅より低い金額での設定を検討している。

大柿地区の遊水地の代替案、消防本部の統合



田中 哲



動画視聴

問 大柿地区の遊水地整備のために、集落の移転を迫られる住民の苦悩と混乱を解消するため、以前より話があった、支流の鹿目川上流に小規模な治水専用ダムを造ってはどうか。鹿目川のダムの効果で球磨川本流の流量を抑えれば、大柿地区遊水地を縮小、または遊水地を整備せずにすむのではないか。

答 中小河川対策も非常に重要。流域治水は、あらゆる対策の検討をお願いする。鹿目川のダムも一つの案として、国・県に提案したい。

問 人吉下球磨と上球磨消防組合本部の統合に向けての決意は。

答 近年の激甚化する自然災害に対応するため、常備消防の強化は喫緊の課題と認識している。各首長と慎重に意見交換し、再編時期を模索していきたい。

他 応急仮設住宅等の入居と今後は



宮崎 保



動画視聴

問 応急仮設住宅の入居状況は。

答 建設型応急住宅は最大345世帯、現在301世帯、賃貸型応急住宅は509世帯、現在382世帯、市営単独住宅は166世帯、現在121世帯が入居中である。

問 建設型応急住宅を市営住宅へ代替えし、活用する考えは。

答 今後耐用年数を迎える市営住宅もあることから、市営住宅、災害公営住宅、建設型応急住宅を適正な戸数で確保する必要があると考えている。そのことが、建設型応急住宅を市営住宅の代替えとして活用することに繋がると考える。

問 村山公園テニスコート横に外灯を増設できないか。

答 周辺の本の伐採や、公園内の別の箇所から移転できる照明灯があれば、移転する計画を行いたい。

被災地域の地区別懇談会への参加人数



平田 清吉



動画視聴

問 被災地域重点地区の地区別懇談会は、本来、市民全てで語りたいもの。参加者は思うように増えなかったと認識しているが人数は。

答 8つの重点地区のうち、薩摩瀬地区は対象5町内、世帯数1499世帯で2998人。うち罹災世帯は1079世帯で2281人。5回の懇談会に延べ70人参加。温泉下林地区は対象3町内、世帯数748世帯で1665人。うち罹災世帯は508世帯で1165人。6回の懇談会に、延べ140人参加。大柿地区は対象2町内、世帯数79世帯で172人。うち罹災世帯は76世帯で157人。4回の懇談会に、延べ167人が参加。地区別懇談会だよりを重点地区町内・仮設住宅全戸に配布、全体報告会の開催等情報発信に努めている。

デジタル田園都市国家構想に対する考えは



宮原 将志



動画視聴

問 デジタル技術を活用し、行政サービスの改革を進めるべきでは。

答 デジタル技術やデータ等を活用することは、住民の利便性の向上や職員の業務の効率化を図ることができるため、非常に重要な施策である。推進するための体制構築を積極的に進めていきたい。

問 行政のデジタル化を進めるにあたり、デジタルバイド（情報弱者）対策は。

答 スマートフォンを所有している高齢者の方等を対象に、操作方法の説明会の開催など検討したい。

問 今後の災害対策における災害廃棄物仮置場の候補地の検討状況は。

答 人吉第一市民運動広場・川上記念球場に加え、専門家の意見を聞きながら、災害の種類や規模に合わせた候補地の検討を進めている。

情報弱者について



西 洋子



動画視聴

問 市が情報を発信する中で、和製英語を含むカタカナ語が多用されているが、それらは高齢者に理解できていると思うか。また、カタカナ語を使っているという認識があるか。市役所内での言葉がそのまま通じると勘違いしていないか。

答 カタカナ語等の使用において組織としての共通認識が徹底していない。特に、説明や対話の中で使ってしまう場合が多いのではないかと思います。職員への意識づけを強化していきたい。

問 部署の統廃合で担当が分かりづらい。専門の電話受付を設置できないか。

答 新庁舎の供用開始とともに庁舎機能も集約される。混乱を招かないためにも当面はこれまでどおり現行の電話交換体制を維持する。

成績評価の2学期制について 他



池田 芳隆



動画視聴

問 県下の成績評価2学期制の実施状況は。試行を含め、熊本市以外の小・中学校の約34%が取り組んでいる。

問 本市での成績評価2学期制の実施は。

答 年2回発行のメリットが多くあり、市内校長会でも検討が進められている。来年度は、3学期制のまま通知表の年2回発行へ、試験的に取り組む方向で進めている。

問 スクールカウンセラーの活用状況は。

答 昨年度において、相談やカウンセリングを受けた児童・生徒は188人。相談内容は、心身の健康、学業や進路など多岐に渡る。支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあることから、県には手厚い配置を依頼したい。

新市庁舎現地視察

令和3年12月21日に全員協議会で建設中の新市庁舎の現地視察を行いました。躯体工事が完了し、内装工事等が行われていました。3月の完成に向け順調に工事が進められています。



4階議場前ロビー



1階フロア



4階議場

お知らせ

塩見寿子議員が、令和3年12月23日付で議員を辞職されました。

▼塩見寿子議員の辞職に伴い、人吉球磨広域行政組合議員に西洋子議員が選出されました。

令和3年12月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第65号	令和2年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第90号	人吉市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第66号	令和2年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第91号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第80号	令和2年度 人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定	議第92号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第81号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度 人吉市水道事業特別会計補正予算（第2号））	原案承認	議第93号	人吉市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第82号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	議第94号	人吉市まち・ひと・しごと総合交流館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第83号	令和3年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	議第95号	人吉市災害公営住宅等整備事業者選定委員会設置条例の制定について	原案可決
議第84号	令和3年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	諮第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第85号	令和3年度 人吉市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	諮第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第86号	令和3年度 人吉市水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	議第96号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議第87号	令和3年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	議第97号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第88号	人吉市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第98号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議第89号	人吉市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	意見第8号	人吉市下球磨消防組合本部・上球磨消防組合本部の広域化に関する意見書	原案可決

令和3年12月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	陳情書（カルチャーパレスの一日も早い再開を求めます）	継続審査
経済建設委員会	有効求人倍率が高い職種への新規採用者に対する自治体からの奨励金支給制度の制定に関する陳情書	継続審査

令和4年1月臨時会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議第1号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第10号）	原案可決

議員別表決 「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議案	議員氏名	松村 太	徳川 禎郁	池田 芳隆	牛塚 孝浩	西 洋子	宮原 将志	塩見 寿子	高瀬 堅一	宮崎 保	平田 清吉	犬童 利夫	井上 光浩	豊永 貞夫	福屋 法晴	本村 令斗	田中 哲	大塚 則男	西 信八郎
議第80号	令和2年度 人吉市歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

市民と議会の意見交換会レポート

随時意見交換会の申し込みを受け付けています。ご希望される団体は議会事務局にお気軽にお問い合わせください。

人吉市老人クラブ連合会との意見交換会

厚生委員会（委員長：高瀬堅一 副委員長：本村令斗）は人吉市老人クラブ連合会（7名）と意見交換会を実施しました。
日 時：令和3年10月19日（火）13：30～15：00
場 所：仮本庁舎3階 議員控室
テーマ：持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について



★こんな意見がありました

- ・会員の加入に関し、男性の入会が特に難しい、人が人を呼ぶ形がよいのでは。
- ・魅力ある町内にしないと生きがいにも繋がらない。
- ・活動拠点の整備、確保は行政がすべきではないか。
- ・旧老人福祉センターは温泉施設に加え、バスの送迎があり良かった。高齢者にとって交通の利便性が重要である。
- ・高齢者福祉の活動拠点として老人福祉センターを復活してほしい。
- ・カルチャーパレスの一室を老人クラブ連合会の活動拠点にしてほしい。
- ・こども王国保安官の活動について、負担ではあるが、皆さん喜んで参加しておられる。地域と学校との繋がりに、大きな役目を担っている。

カルチャーパレスを支える会との意見交換会

総務文教委員会（委員長：宮原将志 副委員長：宮崎 保）は、カルチャーパレスを支える会（11名）と意見交換会を実施しました。
日 時：令和3年11月16日（火）10：00～11：30
場 所：仮本庁舎3階 議会運営委員会室
テーマ：カルチャーパレスの今後について



★こんな意見がありました

- ・小ホール改修工事はまもなく開始される。課題となる大ホールについては大規模改修なのか建て替えなのか、財源はどうするのか様々な観点から検討が必要で、市民の意見を反映していきたい。
- ・カルチャーパレスは人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点であり、文化芸術振興になくてはならない存在。
- ・令和2年7月豪雨の被災により各種関係団体が成果を発表する場所がないことで、日頃の活動や意欲が低下する。
- ・活動拠点がないことにより文化の衰退につながるのは残念だ。
- ・ホール棟の再開を急いで欲しい。
- ・カルチャーパレスの今後については、人吉球磨地域一体となって検討、取り組んでいって欲しい。

編集後記

早いもので7月豪雨から、あと半年で2年になります。どのような年明けとなったでしょうか。

昨年は、復興に向けたただしい一年ではなかったでしょう。ま

中は空き地が目立ってはいませんが、住居等も建ち始め、1歩ずつ歩みだそうとしています。くま川鉄道も昨年11月から部分運行を再開しました。

コロナ禍で、中止となっていた様々な行事も、昨年12月から規模を縮小する形で、球磨一周駅伝、成人式が開催されました。しかし、感染の再拡大により行事の中止を余儀なくされていきます。感染拡大防止のために、三度目のワクチン接種も始まっています。

表紙写真・文責…

宮崎 保

次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／西 信八郎 副委員長／大塚 則男
委 員／徳川 禎郁・宮原 将志・宮崎 保・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲